

本日、博士、修士の学位を授与された皆さん、学位記の授与おめでとうございます。そして、皆さんを支えてきたご家族の皆さん、および関係者の方々にも心からお祝いを申し上げます。

研究大学院大学型の本学を修了する皆さんには、新しい時代の先駆者として日本のみならずグローバル社会を牽引する力が養われているはずです。「未来を予測する最善の方法はそれを創り出すことだ」というアラン・ケイの言葉があります。つまり、先駆性が変化の激しい時代には付加価値と優位性を生み出すと考えられているからです。また、本学は他には類を見ない学際融合分野の多い総合大学でもあります。そのような本学を修了する皆さんには、専門力のみならず、多様な経験に基づいて幅広い知識や教養、コミュニケーション能力などが身に付いているはずです。特に、コミュニケーションは双方向性ですので、自主性、自立性とともに関わり合いの思いやりや共感、チームワークを大切にする資質に直結しています。本学の教育精神の一つである「師魂理才」のもとに学ばれた皆さんには、合理的な思考に加えて、七転び八起きの子の精神、思いやりと勇気、想像力が育まれていると思います。このような人間力を備えた自立した者は、誠実さと柔軟性が求められる社会の多様な課題の解決において、能力をいかんなく発揮できます。

本学は前身校を含めて長い歴史と伝統を継承しながら、「新構想大学」という言葉で表現される従来の大学とは異なる新しい考え方に基づいて、教育、研究、大学運営を進めてきました。皆さんがこの緑にあふれた筑波大学キャンパスという環境の中で、各々の研究テーマについて、試行錯誤し、深く追究しながら、皆さんの思いが詰まった何物にも代えがたい輝かしい成果を獲得したことを心から嬉しく感じています。しかし、それは始まりでしかありません。本学の建学の理念の中に、「不断の改革」という言葉があります。本学のみならず修了生の皆さんも、さらに新たな目標に向かって自己改革を進めなければなりません。過去のしがらみから離れて柔軟に、主体的に考え、必要な時には躊躇せず改革・革新を進めることが必要です。あらゆる意味で「開かれた大学」で学んだ皆さんは、これら先導する者となっていけるはずです。

皆さんが出会う社会は、今、グローバル化の潮流の中で激しく変化しています。科学と技術の進歩は、社会に大きな発展をもたらしてきました。しかし、一方で数多くの問題をも発生させてきました。エネルギー・資源に関する問題、産業・経済の活性化の問題、食料、少子高齢化の問題を含む人口構成、雇用の問題を含む格差社会の問題などの種々の問題です。さらに、皆さんとともに経験した今回の大震災は、信頼していた科学技術や社会システム・人智の限界をあらわにし、改めて自然の脅威を見せつけました。これらの限界や脅威を克服しなければ、安定した成熟社会の実現は困難です。このような問題を解決するために、日本も世界もあらゆる分野でイノベーションにより、新たな成長を生み出そうと必死の努力をしています。特に、わが国は高度経済成長時代を終え、持続可能な成熟社会を模索する転換期にあり、新しい付加価値を生み出す対応力が求められています。これらの問題と問題解決を考える時、さらに重要な点は、問題を地球規模で共有し、解決に向けた活路を地球と地球社会の一員としての自覚を持ちながら、見いだして行かなければならないということです。私たちが挑戦するのは地球規模課題ですから、地球に暮らす人たちの考え方、生活、文化を知り、既存の境界を越えて情報や想いを共有し、連携することが大切であることを認識して欲しいと考えています。皆さんは、困難な時代を乗り越えるための新たな知の創造とそれを具現化できる人たちです。

社会はグローバル化し、皆さんにはグローバルに活躍することが期待されています。学問はもともと世界基準で発展してきました。私も留学では多くのことを学びました。私の不注意で大失敗をした時の

アメリカの上司の言葉は今でも忘れられませんし、必要な時には思い出して勇気付けられます。普段から科学には非常に厳しい上司が、「誰にでも間違いはある」と声をかけてくれたのでした。なぜこの言葉を思い出すのかというと、リーダーシップを発揮する時は、迅速で柔軟な意思決定が重要であるとともに、前向きにリスクテイクすることがしばしば必要だからです。失敗や変化を恐れずに新しい世界に挑戦し、挑戦する中から学び、感謝し、問題を解決し、未来を開拓してください。新しいことに挑戦する時には、失敗はつきものであり、一歩踏み出すためには勇気が必要ですから、その時にはこの言葉を思い出してください。

変化を求められている成熟社会は、従前に比較すると、見通しの利かない社会であり、用意されたわかりやすい解答もありません。自立した人間力を持った皆さんには、是非とも新しい付加価値を生み出すような想像力を発揮してもらいたいと願っています。IMAGINE THE FUTURE. です。ヒトと地球にとって豊かな未来を想像、すなわち imagine しなければ、未来を創造すなわち create できません。次の時代がどうなるか、どうあるべきか大胆に想像して、新時代を開拓してください。本学を修了する皆さんの今後の活躍と挑戦を、社会は楽しみに待ち受けています。卒業してからの社会での体験は、楽しいこととともに、変化が大きいことでしょう。厳しさに戸惑い、そして失敗もあるかも知れません。一方で、それらの体験は皆さんの予想以上に実践的であり、専門的であり、緊張感のある中身の濃いものであり、皆さんに着実に実力を授け、大きな達成感を与えるものでもあります。新しい挑戦は皆さんの人生を必ず豊かにします。

最後になりますが、皆さんがそれぞれに新しい挑戦をすることが、TSUKUBA らしさを世界に発信し、新しい芽を伸ばすことにつながります。つくばの地を離れても、これからも同窓生ネットワークを通じて、ともに歩んでいきましょう。社会から見た大学の価値は、学位を受けた皆さんのこれからの活躍の価値そのものです。

修了生の皆さんの門出を祝し、これからの益々の発展と活躍を心より祈念し、私の学位記授与に対するお祝いの言葉といたします。

平成25年3月25日

筑波大学長 山田信博（代読 清水一彦）